令和2年5月15日

香川県社会人リーグ登録チーム　代表者様

香川県社会人リーグ運営委員会

委 員 長　　上北　正人

事務局長　　村上　剛

令和２年度「県社会人リーグ」の運用に関する「事前アンケート」について（回答のお願い）

　　深緑の候　皆様におかれましては、緊急事態宣言下の各種自粛要請が継続されている中、日々を大切に過ごされていることと存じます。

　　さて、現在７月末まで運用方針を延期しているＲ２年度の県社会人リーグの運営に関し、運営委員会における今後の方針を決定するに当たり、登録済み(2万5千円完納)の全チームへ「事前アンケート」のご回答をお願いするものです。

先日、チームファーストのポリシーに則り、5月10日を期限として実施した「電子代表者会議」(4/30発信)では、計８チームから、各種ご意見等が提出されました。それらも踏まえ、また、県社会人バスケ連盟役員理事やリーグ運営委員会委員の意見等も参考に、以下のような対応案の選択肢に集約しましたので、事前アンケートの回答に、ご協力をお願い申し上げます。

対応案の選択肢を策定するに当たっては、チームごと、部ごとの選択を可能(意思尊重)とし、「交流ゲーム又は練習会の機会を通して健康増進を図り、新型コロナ感染症に強い心身をつくろう！」をテーマに据えて策定しています。従いまして、部ごとの順位決定や入替戦はなく、ランキングは来年度へ持ち越し、県社会人リーグ登録料の返金設定も検討しています。

なお、新型コロナウイルス感染症への対策も時々刻々と変容(現時点の香川県下では、自粛等の解除が段階的に進行)しつつある中で、「今年度は、県社会人リーグへの参加を辞退する」という希望から変更がないチームは、以下の提案選択肢のうち、「案1」を選択してご回答ください。

記

１　回　　答　　期　　限　　　　令和2年５月３1日(日)

２　回　　答　　方　　法　　　　次ページの対応案の選択肢から最も希望する案を選択し、回答様式のファイルに必要事項を入力し、返信回答する。

３　回答先メールアドレス　　　　mura3976@yahoo.co.jp　(県社会人リーグ運営委員会・村上事務局長)

以上

【対応案・選択肢】

　※以下の案1～4を選択し、別紙「回答様式」にて返信してください。案1を選択したチームは、本アンケート結果に拘わらず、「今年度は辞退する」ものとし、案2･3は、穴あきの部構成で開催しますが、辞退状況によっては、複数部の合同交流をお願いする場合があります。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 対応案 | 体育館 | 入替戦 | 県登録料(2万5千円) |
| 案1 | 年間の全日程を中止する。(又は、今年度の県社会人リーグへの参加を辞退する。) | 予約済み日程部分(高松高専体育館は除く。)は、使用希望チーム等があれば、使用料負担を条件に譲ることがてきる。⇒開催日2週間前が希望の受付期限。 | なし | 全額返金する。⇒返金方法等は、別途連絡する。 |
| 案2 | 8月以降の空き体育館を、運営委員会が確保し、「ハーフ交流ゲーム」を行う。(辞退チームを除く。)・1日の開催で、当初計画の2日間の日程分を消化する。・日程の組合せ等は、部ごとに協議する。・前半8分－(HT5分)－後半8分の短縮ゲームで行う。・審判は、帯同を原則として部単位での個別調達とし、審判謝金(半額)は、必要経費として運営委員会から支給する。 | 確保が必要条件となる。⇒確保できなかった場合は、「案1」となる。 | なし | 参加の全チームに、1万円を返金する。⇒返金方法等は、別途連絡する。 |
| 案3 | 8月以降の空き体育館を、運営委員会が確保し、「可能な範囲での交流ゲームや練習等」を行う。(辞退チームを除く。)なお、実施方法等の詳細は、部ごとに協議して決める。・部単位で「交流ゲーム・練習等をしない」0日選択も可。・部単位で、1日～最大3日間で、交流ゲームや練習等の企画を協議する。・交流ゲームの場合の審判は、帯同を原則として部単位で個別調達とし、審判謝金は、必要経費として運営委員会から支給する。 | 確保が必要条件となる。⇒確保できなかった場合は、「案1」となる。 | なし | 部単位の「実施選択日数によって、部分返金」する。なお、部単位の1チーム当たりの返金額は、以下のとおり。・0日選択(実施しない。)⇒2万5千円(全額)返金・1日のみ選択⇒2万円返金・2日間選択⇒1万5千円返金・3日間選択　⇒1万千円返金 |
| 案4 | 上記の修正案及び代替案があれば、ご提案ください。⇒別添の「回答様式」のファイルの各欄に記載してください。 |